

## 令和4年度(2022年度) 第3回 函館市地域学校協働活動連絡会議 会議録

日時	令和5年2月20日(木) 13:30~14:20
場所	函館市南北海道教育センター 大会議室
参加者	工藤委員, 梅田委員, 吉村委員, 阿久津委員, 中村委員, 神田委員(6名) ※欠席 京谷委員, 金澤委員, 酒井委員, 牧野委員, 照井委員, 田中委員, 廣島委員(7名)
事務局	小棚木学校再編・地域連携課長, 井本主査, 石川主任主事(3名)
傍聴	なし

### 1 開会

#### (事務局)

本日はご多用の中, ご参加いただきありがとうございます。  
定刻となりましたので, ただいまから令和4年度(2022年度)第3回函館市地域学校協働活動連絡会議を開会いたします。

今回の会議では, お集まりいただいた地域コーディネーターの皆様, 今年度の活動状況等について振り返りながら, 本市の地域学校協働活動推進活動の次年度の方向性等について検討を行いたいと考えております。

本会議につきましては, 函館市情報公開条例第26条の規定に基づき原則公開となります。本日の議事等につきましては, 非公開となる内容がないと考えられますので, 全ての会議が公開となりますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

会議終了後には, 発言要旨を取りまとめた会議録を作成し, 公表することとなっておりますので, ご承知おきください。会議録につきましては, 後日, 出席された委員全員に確認していただく予定でおります。

なお, 本日は当会議終了後, 14時30分から当会場で地域連携担当教職員研修会を開催いたしますので, 引き続きよろしく願いいたします。  
工藤座長よろしく願いいたします。

### 2 今後の方向性等に係る検討

#### (工藤座長)

それでは, 次第に基づき進めたいと思います。次第2の今後の方向性等に係る検討に入りたいと思います。

今回は、「今年度の活動を振り返って」「次年度の取組の見通し」の2点につきまして、地域コーディネーターの皆様からご意見をいただきと思っています。それでは、吉村さんのほうから順番に発表していただいて、そしてその後、質問・意見等伺いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

#### (吉村委員)

巴中学校地域コーディネーターの吉村です。巴中学校の今年度の活動としましては、もう5年目に入りましたので随分定着してきていまして、例年通り、ボランティアによる図書館の運営と、夏休み・冬休みの学習サポート会を中部高校さんに協力していただいて行いました。先日、地域の金刀比羅神社の絵馬奉納祈願祭を終えたところです。そして、年々中部高校さんのボランティアの数が増えてきていまして、夏休み・冬休みそれぞれ100人を超す参加者があって、大変うれしい悲鳴ということです。

来年度に向けてですが、私たちは5年活動してきて毎回感じていることがあります。それは教育委員会の担当が変わると色々なことが振り出しに戻るといえるのか、また一からこう「地域と連携して活動するには」というところから始まってしまうという傾向があるので、学校によって色々な進捗状況があると思いますので、その辺を十分引き継いでいただいて、意味のある活動に繋げていけたらいいのかなと思いました。

そして、先日青田さんの講演の時にもありましたように、CSや地域コーディネーターを設置して終わりではなくて、今後に向けて、今やっていることは本当に必要な活動なのかとか、改善点はないのかということも、もうちょっと検討しながら進めていきたいと考えております。

#### (阿久津委員)

こんにちは。千代田小学校地域コーディネーターの阿久津と申します。千代田小学校のCS活動といたしましては、今年度は見守り活動を、町会の方にもご協力いただいてやったことが今までの中で一歩前進かなというところでした。ただ、町会さんは町会さんでの活動があるので、それにCSの活動がプラスになると、ちょっと町会さんにも負担になるというところのバランスをとっていきながら、あまり負担をかけず長く継続できるような活動を来年度は相談しながらやっていきたいかなと考えております。

私個人としては、コロナで活動もあまりなかったですし、町会に入って何かをするということがなくて、なかなか町会さんとのコミュニケーションがとれていなかったもので、今年は、町会の新年会に顔を出させていただいて、町会の皆さんとお話しさせていただいたり、CSの紹介をさせていただいたりしました。活動に繋げる前に、まずはコミュニケーションをとっていきこうと思っていますので、来年度はもう少し他の町会さんにも顔を出してコミュニケーションをとりながら、今後の色々な活動に繋げて

いけるような感じで進めていきたいかなと思っております。以上です。

**(中村委員)**

こんにちは。大森浜小学校のコーディネーターをしております中村です。今年度もやはり見守り隊の活動を中心に行ってきたんですけれども、コロナ禍で大森浜小学校もコロナの児童が増えた時期も多々ありまして、なかなか活発な活動にはならなかったのですが、先日学校運営協議会が開かれまして、その中で、次年度に向けてこういった活動をしていったらどうだろうとか、何となくこう明るい未来が見えてきたような活発な話し合いをしました。今までは大森浜小学校の校区にあるいろんなお店にオレンジ色のバンダナを掲げてもらって、子どもたちに安心の色だということを認識してもらおうかなと思っていたんですけど、今回はオレンジ色のバンダナをデザインしたポスターを貼って、子どもたちに安心を感じてもらおうという取組を本年度中にすることになりました。それを足掛かりに、今後はもう少し幅広く、大森浜小学校を卒業した児童の保護者にも、地域の大人として見守り活動を何かしらの形で手伝ってもらえないかどうかとか、色々みんなで意見を出し合いながら進めたいと考えております。以上です。

**(神田委員)**

南本通小学校で地域コーディネーターをしております神田でございます。よろしくお願いたします。今年度は毎年と変わりなく同じようなルーティンで地域コーディネーターとして活動をしておりまして、地域の方々もこの活動がだんだん定着してきていまして、あって当たり前みたいな感じにはなっているかなあと考えています。先生方もこのCSの活動っていうのを存分に利用していただいているので、今後はもうちょっとブラッシュアップして、また出来ることがあればと思っております。以上でございます。

**(梅田委員)**

港小学校・港中学校の地域コーディネーターをしております梅田と申します。私は4月でようやく地域コーディネーターとなって1年が経つということで、毎回来るたびに勉強させていただいております。見守り活動をスタートさせるために、まず見守り隊の人数をどのように確保するかということで、港地区に関してはPTAではなく、地域の方を中心に今70人くらい集まっております。先生方のご協力で、港地区のすべての方に新聞にこのようなチラシを同封させていただきまして、このチラシを見て、一般の方が是非子どもたちを見守りたいということで、手を挙げてくださったことが画期的だなと思っております。それ以外にも、今年一番の目的は、地域全体として避難訓練をしようということだったんですが、コロナ禍もあり、連携期間が各々で行う

ということで開催しました。次年度に関しましては、9月1日に地域全体で避難訓練をやろうというところまで話が進んでいる状況です。今回は、地域コーディネーターとしてがん教室の体験をさせていただいたり、防災訓練をさせていただいたことが、自分にとっても大変ためになったと思います。以上です。

#### (工藤座長)

青柳ネットで今年度から地域コーディネーターをやっております工藤と申します。私の今年度の活動ですが、初めてということもありましたが、やはりコロナ禍が影響して、当初予定していた活動が出来るどころと出来ないところがありました。防犯パトロールに関しては、中学校区23町会で防犯パトロール隊が組織され、毎月日にちを決めて、見守りをしてもらえるという体制は出来ております。青柳ネット4校に関わる事では、校外生活委員会を4校合同でやるということで夏と冬に計画していましたが、冬のほうは案内を出す時期が11月頃でコロナのピークと重なり中止になっております。小学校では、地域人材の活用ということで福祉教育に関わって包括支援センターあさひ様と連携し、「認知症」について講話をしていただきました。5年生の宿泊研修では、小学校3校が西部地区散策をして研修しているということから、普段観光ボランティアをされている地域の方に来校いただきまして、事前学習という形でお話をしていただきました。学習支援としては、「3年生の道具の変化と暮らし」の单元の中で函館市地域交流まちづくりセンターのセンター長様に来ていただき、「地域の道具の移り変わりと生活の変化」をテーマにお話をしていただきました。

来年度の活動につきましては、第3回学校運営協議会で熟議を行うので、来年度、コロナ明けを前提に地域と学校が一緒になってどんなことが出来るのかということをもう一回話し合ってください、方向性を考えていきたいと思っております。コロナ禍と働き方改革に関わっていろいろな活動の進め方が変わってきています。全て元通りにということは難しい状況ですので、その点も考慮していただきながら話し合いを進めていきたいと思っております。青柳ネットの活動は以上です。

それでは、各地域の活動報告がありましたが、CS活動をまた再検討しなければならないというような意見、町会とのコミュニケーションがまた必要であるということ、教職員との連携もこれから必要ではないかなということ等のご意見がありました。また、見守り隊の増員などでも課題がありました。

来年度の見通しということで、今の話に関わって何かご意見・ご質問ありましたら発言していただければありがたいです。活動を進めるにあたってなかなかご苦勞もあるのではないかと思いますので、そのあたりも含めて、来年度の抱負について何かご意見があれば、いかがでしょうか。

**(神田委員)**

巴中学校さんの図書館は視察に行ったことがあって、中が本屋みたいでびっくりしたことと、やはりボランティアさんのご努力と、司書の先生と吉村さんとの連携があってあの図書館を維持できているんだなあというのを実感いたしました。やはりそこに地域コーディネーターとして色々間に入るとなるとすごく大変なんじゃないかなと思いましたし、すごい共感する部分がたくさんあって、今後中学校の地域コーディネーターの在り方みたいなのを教えていただきたいと思っている次第です。そして先程、阿久津さんの方で、町会さんを訪問するという話を伺って、私も最初の頃はすべての町会さんの総会や餅つき大会、クリスマス会など様々なものに顔を出して、お時間をちょっとずついただいてご挨拶させていただいて、その都度CSを宣伝してきました。何年もかけて、町会から派遣してくださった方は南小CSの一員だというふうになんて意識していただいているなというのが実感です。なので、通うというのはすごい効果的だと私は思いました。

**(阿久津委員)**

頑張ります。

**(工藤委員)**

吉村さん、中学校のコーディネーターの在り方というのはいかがでしょうか。

**(吉村委員)**

地域コーディネーターの在り方になってるかどうか、これが正解というのはたぶん無いと思うんですよね。それで、一番やはり心掛けているのは、何のためにこの活動があるのかという原点みたいなことなんですけど、巴中の場合は、生徒のためになっているかということが一番大事だという意識をCSの委員みんなで共有して始まった経緯がありまして、図書館の運営でも、学習サポート会でも、講演会でも、すべてがその生徒のためになっているかということを、何回も話し合いをして進めていくということです。図書館の運営については、ほとんどの中学校の図書館は色々制約が加わって生徒が気ままに利用できないでいるのが現状のようですが、一番のうちの成功の秘訣は、気ままに利用していい、使いたい人が使いたい時に使える図書館であることで、そうできたのは何より学校司書さんに熱い志があったからなんです。巴中の支所さんは生徒のために何が出来るかということを生徒と一緒に一生懸命考えるような人で、それを聞いているうちに私がこの人の助けになりたいと思ったんですよね。学校司書というブレーンがいて、それを助けたいという地域コーディネーターがいて、またそれに参加したいというボランティアの人たちが10人いて、その関係が出来上がったというのが一番の成功の秘訣だと思うんですよね。みんな一緒に生徒のために何が出来るか

ということを考えているので、図書館では勉強もするんですけど、生徒の息抜きの場にもなったらいいなと思っています。ちょっと本を読んだり、友達と話したり、そういう息抜きの場を作りたいという一致した気持ちがあったので、図書館が成功したと思っているんですね。今の一番の課題は、それを先生とちゃんと共有しなきゃいけないなということです。やはり先生もどんどん変わっていくので、いつも同じ先生がいるわけじゃないですし、毎年新しい先生が入ってきたり、今までいた先生がいなくなったりするので、わかっていたはずのことが、ちょっと手を抜くと元に戻ってしまったりするんですね。なので、ちゃんと説明していかないといけないなと思って、今その方法を模索しています。

#### **(工藤委員)**

ありがとうございます。今のお話の中で、町会との関係では、やはりこまめに町会と接点を作っていくことが大切なのかなと思います。図書館の運営では、まず図書館ボランティア活動のすべてが児童生徒のためにという気持ちが原点ではないかなと思います。その中で今、吉村さんのほうからは、司書の先生の想いを受け止めてそこにお手伝いしていくこと、学校のメンバーが変わっても、理解されてない先生に理解してもらおうということが大切であるとのことのご意見がありました。現在、各学校に地域担当の先生が一人は任命されているのですが、その先生方とはどんな感じで連携を図られているか、状況を聞かせていただければ有難いなと思います。いかがでしょうか。

#### **(神田委員)**

南本通小学校は地域担当の先生が二人いるんです。一人は任命で、一人はやりまస్తుっていう立候補です。私も先生とのコミュニケーションは重要視していて、本当にくだらな話もしながら、日々先生とは仲良くするというふうに決めてます。なので、今もうPTAを卒業して保護者ではない立場で先生と接していますから、先生も遠慮なく色々な話をしてくれることで活動も上手く進んでいる状況ではないかなと思っています。以上です。

#### **(梅田委員)**

港小・中に関しては教頭先生と事務の方が中心にやってくださっています。事務の方がすごく頑張ってくれていて、活動の中心となってるキーパーソンだと思っています。私たちの目線ですてあげたいことと、子どもがやって欲しい事って若干誤差があるのではと感じているので、私たちがしてやりたいとか、ためになつてると思つてることではなく、子どもが何をして欲しいかということに来年度は目を向けないと、何となく私たちの感覚だけで走ってしまうとどうなのかなと思っています。なので、子どもたちにも参加してもらって、子どもが実際何をして欲しいのかを聞くことで、私た

ちの活動に繋げていくことも必要だというのが、地域コーディネーター1年目で感じたことでした。

#### (工藤委員)

では、先生方との関係ということではいかがでしょうか。

#### (中村委員)

今年度は地域の担当の先生が代わりまして、新しい先生とコミュニケーションがまだ取りきれてないなというところは反省点です。昨年度までの先生とは、何気ない会話とかもしながらちょっと距離を縮めてたんですけど、なかなか今年度はそれが出来ていなかったです。

#### (阿久津委員)

千代田小学校は、担当の先生はいるんですけども、100%窓口が教頭先生になってます。うちの子どもたちがいた時の先生は代わってしまって、もうほぼお付き合いしてた先生方がいない状態なので、私も、先生とのコミュニケーションもやっぱり大事だなというところも考えつつ、普段そんなに学校に行く機会もないので、そのアプローチをどういうふうにしていったらよいかというのが来年度の課題かなと思ってます。なので、出来るところで何かあった時に話しかけて、町会の方と同じように少しずつコミュニケーションをとって行って、先生方からのほうも声をかけやすいような関係性を作っていくのが、私の中での来年度の動きなのかなと思っています。

#### (吉村委員)

巴中は地域担当教諭が2名いらっしゃって、本音で語り合えるような関係性を作り上げられていると感じています。そして、図書館での活動や学習サポート会、防災の取組では各学年主任の先生や担当の先生ともコミュニケーションを取るようになっています。図書館の運営では、司書と担当の先生と私たちが別々の方向に走っていないかという確認をいつもして、こういうことをやっていてもいいですか、図書委員会ではどうですかとか、何か邪魔にはなってませんか、私たちに出来ることはないでしょうか、ということを話し合うようにしてて、活動内容によると思うんですけど、地域担当教諭以外の先生でないと分からないことはたくさんあるので、担当の先生方や管理職の先生には廊下で呼び止めて、だれとこういう話をしましたという報告をしています。わかってるもんだと思って進んじゃいけないなという気持ちがあるので、気が付いた時にすぐ話すようにしています。あと、生徒がやって欲しい事をどうやって吸い上げるかについては、正直、私の子どもが中学生だった当時を思い返してみても、意外と中学生はあまり地域にものを求めてないです。なので聞かれても、何を答えて

いいのかが分からないんじゃないかなあとと思います。なので、なるべく学年主任の先生に聞いたり、図書館に来ていて私やボランティアさんに慣れてて気軽に話しかけてくる生徒がこういうことって出来ないんでしょうかとか言うてくるので受け入れるようにしてますけど、必ず生徒から言われてすぐやるんじゃないなくて、先生方に確認を取って、図書館のことだったら司書教諭の先生とか地域担当の先生に許可をとってから、こういう生徒から要望がありましたけどこれはやりますかとか、司書さんに相談してみてもいいですかとか、そういうことを必ず確認してからやります。慣れてくると生徒もそうやって図書館については言うてくれるんですけども、それ以外の行事で何か地域に求めてるかって言うと、きっと求めてないと私は感じてます。

#### (工藤委員)

ありがとうございました。青柳ネットでも地域担当の先生が4校で5人いるんですけども、この1年1回も話したことないなという状況です。4校の校長研修会には毎回参加させていただいているので、そこで話をして、教頭先生に連絡等お願いをしたり、具体的なCSに係る行事などは教頭先生と打合せたりしている状況です。来年度はもっと担当の先生方と直接お話をしたいなと思いました。

あと、子どもの想いをどう伝えるかということについて吉村さんにお話しいただいたんですけども、その辺りいかがでしょうか。

#### (神田委員)

うちは小学校なので、例えば先ほど吉村さんがおっしゃっていたように、たぶん子どもの想いついていうのは、中学校以上に上がってこないかもしれないです。なので、私が地域コーディネーターとして活動している内容としては、先生方が年間で立てる事業計画・学習計画に沿って、いかに子どもたちに先生がやってあげたいと望んでいる学習状態にするかということを中心に心掛けてます。なので、その中で子どもたちの様子を見ながら、きっと先生方がこうしたい、ああしたいっていうのがまた湧いてくると思いますので、その意見をとにかく拾って蓄積していつか次年度どうするかっていうのを考えるようにしていますので、コーディネーターとして、まず学校の学習の計画、あと校長先生が立ててる学校運営方針、そういうのをしっかり認識した上で考えるようにしています。なので、本当はもっと子どもたちの気持ちを汲んであげればいいかもしれないんですけど、今はそういう状況になっています。以上です。

#### (工藤委員)

今話を聞かせていただいて、本当に学校で何が困っていることだとか、そういうところをどうやって手助けしていくかについて考えることが必要かと思います。学校全体で困っていることもあるでしょうし、各先生方が、授業を進めていく中で、手を

貸してほしいということがあるのではないかと思います。私は、図書館ボランティア導入の話を働きかけたこともありましたが、逆にまだ必要ではないと判断されたこともあります。

#### (吉村委員)

図書館に関しては、ボランティアさん選別に失敗するともうやりたくなくなるというのは、とても分かります。色々なところで失敗例がありまして、やっぱりボランティアに適している人というのがいるんです。やりたい人が適しているとは限らないので、そこで失敗してしまうと、もう司書さんにやる気がなくなるというか、もうものすごく面倒くさいことになってしまったりして、こんなになるんだったらやらなくていいっていうふうになるようなことが起こってる例をたくさん聞いています。だから、このボランティア選別はとても慎重にやらないと、やりたい人にやらせるっていうのが一番いけないことだと私は感じています。

#### (工藤委員)

あと、特に何か付け足し等の意見ありますか。よろしいでしょうか。それでは時間になりましたので、これで意見交流を終わります。どうもありがとうございました。事務局にお戻しします。

## 4 閉 会

#### (事務局)

ありがとうございました。本日、地域コーディネーターの皆様からいただいたご意見をもとに、次年度の方向性などについて、事務局で検討してまいりたいと思います。それでは、課長からご挨拶申し上げます。

#### (小棚木課長)

地域コーディネーターの皆さん、ありがとうございました。私は着任してちょうど11ヶ月になりますが、前任は青柳小学校で教頭をしておりまして、地域担当教諭はいたんですけど、はたして自分が教頭として、地域担当教諭とコーディネーターを繋ぐ役割が出来てたかっていうとなかなか出来てなかったのが現状でして、今日、この後の研修の前半では先生方向けに地学協働活動について、ちょっと厚めに話そうと思っています。子どもにとって、とっても大事な活動で、学校にとっても地域にとっても子どもにとってもみんなが幸せになれるWin-Winな活動なんだということを、この後お話ししようと思っています。是非、先生方に声を掛けていただいて、いっぱいコミュニケーションをとっていただいて、更に活動を充実していただきますように来年度もどうぞよろしく願いいたします。

コロナ禍で様々な活動が制限された2年間だったと思います。この2年間、よく「なかなか」っていう言葉を使いませんでしたか。この「なかなか出来ない」のが少しずつ次年度なくなって、今までもなかなか出来ないことを皆さん工夫しながら、少しずつこう歩んできたと思うんですね。それを次年度是非活かしていただいて、この「なかなか」が少しでも「なかなかいいんじゃない」「なかなか出来るんじゃない」というような言葉として発せられるようになればいいかなと思っております。今年度は、本当にありがとうございました。

#### (事務局)

来年度につきましても地域コーディネーターの拡充が予定されており、新たに地域コーディネーターが数名配置される見通しとなっております。より一層、地域コーディネーター間の繋がりを深めていただければと考えております。

また、今後も、他の地域コーディネーターの活動を相互に見学する取組を継続していきたいと考えておりますので、見学可能な活動がございましたら、市教委担当者までご連絡いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和4年度(2022年度)第3回函館市地域学校協働活動連絡会議を終了いたします。本日はありがとうございました。